

現状

【人口】 220人 【集落数】 8
【高齢化率】 61%
【世帯数】 149世帯
【施設等】 役場連絡所、診療所、郵便局、JA、大塔あすなる会、養護施設くすのき(真寿会)、共生舎

【特産品】 しいたけ、米、らっきょ、いも類、鮎、高野槇、はちみつ等
【文化・芸術】 若葉祭り
【地域行事】 百間山溪谷トレッキング
【地域資源】 百間山溪谷キャンプ場、合川ダム湖遊覧船、

【生活環境】

交通：デマンドバス：4便/日、200円/回(2路線)
診療所送迎バス：地域を分けて隔週で実施
外出支援事業：交通手段の割引など(田辺市補助事業)
買い物：移動販売(週4日)
金融：三川郵便局
医療：三川診療所(内科、外科、小児科) 毎週月・木と隔週水

課題

○関係人口の受入となる活動交流拠点施設の整備
○農業体験イベント開催による関係人口の創出

○活動交流拠点の魅力を向上
○耕作放棄地再生による景観保全

対策

【活動拠点整備事業】

- 活動交流拠点施設の整備
 - ・共同集会所を活用し、地域内外の人が交流できるカフェに整備
- 活動交流拠点施設の充実
 - ・滞在時間が長くなるよう活動交流拠点施設の魅力を向上
 - テントサウナの設置
 - 清流の水を利用した水風呂の設置
 - ピザ釜の設置
 - 地域農産物の販売所の設置



【共同集会所】



【ワインブドウ栽培体験事業】

- ワインブドウの栽培体験イベントを開催
 - ・「ドメーヌ・タカガキ」で栽培体験
 - 傘かけ(7月)
 - 収穫(8月)
 - 定植(12月)



【ドメーヌ・タカガキ園場(ブドウ畑)】

【耕作放棄地美化推進事業】

- 耕作放棄地で体験イベントを開催
 - ・基幹道路沿線の耕作放棄地を中心に開催
 - 草刈りと耕起(8月)
 - 鳥獣害対策(9月)
 - 景観作物の作付け(10月)



【熊野地区耕作放棄地】



【面川地区耕作放棄地】

目指すべき姿

- 三川生活圈の関係人口を増やし、地域住民の活力を向上させる。
- 活動交流拠点施設を整備することにより、三川生活圈の魅力を高める。
- 人々と交流するイベントを開催することで地域内外交流を活性化させる。

【事業期間】 令和6年度
【事業主体】 輝け三川

全体事業費：5,487千円
うち県：5,000千円